

# 日本と フィリピンを生きる 子どもたち

ジャパニーズ・  
フィリピン・チルドレン

野口和恵



子どもとお母さんたちに寄り添ったルポ



## 仁藤夢乃さん推せん

女子高校生サポートセンターColabo代表

私たちのおごりや過ちに、  
彼ら彼女らが気づかせてくれる

あけび書房 定価 本体1400円+税

四六判、184ページ **本体1400円** ISBN978-4-87154-137-4

**あけび書房** 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-9-5 TEL.03-3234-2571 FAX.03-3234-2609  
E-mail: akebi@s.email.ne.jp <http://www.akebi.co.jp>

日本人とフィリピン人の間に  
生まれた子ども  
ジャパニーズ・フィリピン・チルドレンは、  
現在、10万人とも20万人とも  
言われている…

推せん  
します

女子高校生サポートセンターColabo代表

仁藤夢乃さん

私たちのおごりや過ちに、  
彼ら彼女らが気づかせてくれる



## 野口和恵 [著]

1979年生まれ。法政大学文学部卒。  
編集プロダクションで児童書を編集する一方で、  
ミニコミ誌「世界子ども通信ブラッサ」編集長をつとめ、  
国内外の子どもが背負われている問題について取材。

2011年7月～2013年1月までフィリピンに滞在し、  
現地NGOでボランティアをしながらJFC(ジャパ  
ニーズ・フィリピン・チルドレン)の取材を行う。  
ストリートチルドレンを考える会 共同代表。

ブログ「Child to Child」 <http://child-to-child.com/>

もくじ

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 フィリピンの英雄 | 4 二級の日本国民  |
| 2 未完成の子ども  | 5 取引される母と子 |
| 3 父との対面    | 6 JFCの誇り   |

本書「プロローグ」より

彼女に会った私は、「もし、お父さんに再会したら何としたい?」とたずねた。  
「ありがとう」  
「どうして?」と驚いて聞き返す私に彼女は重ねていった。  
「だってお父さんがいなければ、私はここにいなかったのですから」  
ナオミさんの父親はまだ行方がわからないままだ。けれども、彼女の言葉を  
聞いたら父親はどう思うだろうか。  
理由もわからず自分のもとを去っていった父親を許し、感謝の気持ちまで  
口にする彼女の度量の深さに、私は心を動かされた。……

キンドル線

ご購入の際は、最寄りの書店が取扱先、あるいはあけび書房が書者へご注文下さい。

『日本とフィリピンを生きる子どもたち』を ( ) 冊注文します

書店印・取扱先

その他・備考

氏名・団体名

送り先 〒 ( ) ( ) ( )

電話 ( )

ご担当者  
氏名

あけび書房  
TEL 03-3234-2571  
FAX 03-3234-2609

取次店名: トーハン・日販・大塚屋・中央社・大洋社・栗田・日教館・全官報・新日本図書・JFC・大学図書・鎌倉書店